学校整理番号(115)

動物管理科　昼間部

動物飼育コース

１年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	犬学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	冨澤 彩						
	実務経験	有	中村学園職員として在籍中はドッグトレーニング実習担当。その間AAA活動にも取り組む。退職後ドッグトレーナーとして独立。主張しつけ方レッスンやしつけ方講座などを行う。				
授業概要	①犬の起源・生態・ライフサイクル。 ②畜犬団体によるグループ分け・様々な犬種の犬種特性・スタンダード・沿革。 ③犬体名称・用語・被毛・骨格の特徴。 ④家庭で犬を飼育管理する為の基本的知識と犬種特性に合わせた管理方法などを学ぶ					授業形式	講義
到達目標	犬の生態・スタンダード・犬種特性を理解し、それらに合わせた飼育方法の分析が出来る。 お客様・飼い主さまへアドバイスするための知識、適切かつ安全に犬を飼育管理をする為の基本的な知識の習得。						
教科書・教材・服装等	「犬種図鑑」、筆記用具						

授業計画	授業内容
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明・犬の起源・世界及び日本の畜犬団体
2	犬の起源・オオカミとの違い・様々な犬種が生まれた経緯
3	ルーツ/用途/形態によるグループ分け　1～6Gの特徴・属する犬種
4	ルーツ/用途/形態によるグループ分け　7～10Gの特徴・属する犬種
5	犬体名称・歩様・噛み合わせ・歯列・歯の名称・骨格構成・骨格名称
6～7	人気犬種の用途・沿革・犬種特性・飼育管理時に注意すべき点・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
8	犬具知識（おもちゃ、ガム）・ノーズワークトイ・知育玩具
9	ボディーランゲージ・ストレスサイン
10～12	人気犬種の用途・沿革・犬種特性・飼育管理時に注意すべき点・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
13～14	復習　定期試験範囲の説明と対策
15	犬のライフサイクル（体と心の発達・社会化期・若年期・発情期）
16～17	人気犬種の用途・沿革・犬種特性・飼育管理時に注意すべき点・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
18	犬を飼う前に知っておきたいこと（準備するもの、畜犬登録・フィラリア予防・ワクチン・駆虫・避妊・去勢など）
19	皮膚の健康維持に欠かせない腸内環境づくり（腸活）、犬に与えてはいけない食べ物
20	歯周病と歯磨き
21～23	人気犬種の用途・沿革・犬種特性・飼育管理時に注意すべき点・起こりうる問題行動・かかりやすい疾病
24	災害時対策
25～26	犬のライフサイクル（シニア期）、犬の介護と介護用品
27	ホリスティックケア
28	復習　定期試験範囲の説明と対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	ネコ学					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	濱保　衣都子						
	実務経験	有	The Cat Fanciers' Association, Inc（CFA）公認審査員、国内外キャットショーで審査員をしている。猫のブリード経験30年以上、現在もブリードをしている。				
授業概要	猫の基本的な体の構造、行動学、猫種学、猫を管理・飼育する上で必要な条件やグッズ、環境作りを学ぶ。後期は毎月1回学生達と猫舎に入り（猫演習）、実物の猫達と触れ合う事で講義授業内容を反復させていく。					授業形式	講義
到達目標	猫という生き物の理解を深め、基本的知識と飼育関連知識を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	パワーポイント使用。猫演習の際は実習服着用。						

授業計画	授業内容
1	猫と触れ合い猫に馴れる
2	犬と猫の違いについて、人間との関わりや歴史
3	カプノサイトファーガ・カニモルサス感染症
4 ～ 5	猫の体の仕組みと働き
6 ～ 8	猫の感情表現（行動学）
9 ～ 11	猫の習性（行動学）
12 ～ 14	猫との暮らし（必要なモノとコト）
15 ～ 17	猫の攻撃行動（行動学）
18 ～ 20	猫の目色と毛色
21	猫の体の名称
22 ～ 26	猫種学
27 ～ 28	猫のワクチン接種と感染症

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	愛玩動物飼養管理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3　単位
		通年	3　単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	村上 幸子						
	実務経験	有	ペットフードメーカーのペット相談室に勤務し、獣医師としてペットの飼育・健康相談を行う。当学園において愛玩動物飼養管理士１級・２級等を担当し現在に至る。				
授業概要	愛玩動物飼養管理士２級の資格取得を目指して学習する。					授業形式	講義
到達目標	動物の愛護に関する法律や適正飼養に関する知識を習得し、専門的指導員として活躍できるようにする。クラス全員が認定試験に合格することを目標とする。						
教科書・教材・服装等	・愛玩動物飼養管理士２級教本　第１巻・第２巻 ・課題報告問題　　・配布プリント(授業プリント、練習問題集)						
授業計画	授業内容						
1～2	1　「愛玩動物飼養管理士」に関して理解する。						
3～6	2　「生命倫理・動物福祉」に関して学習する。						
7~10	3　「動物の体の仕組みと働き」に関して学習する。						
11~12	4　「動物の遺伝と繁殖生理」に関して学習する。						
13～16	5　「動物の行動としつけ」に関して学習する。						
17~22	6　「動物愛護・適正飼養関連法規」に関して学習する。						
23~26	7　「愛玩動物学」に関して学習する。						
27～28	第1巻の総復習と前期期末試験対策を行う。						
29~32	8　「人と動物の関係学」に関して学習する。						
33~36	9　「動物生活環境学」に関して学習する。						
37~40	10　「ペット関連産業概論」に関して学習する。						
40～42	「認定試験対策」を行う。						
41～54	動物の飼養管理等に関して、さらに深い学習を行う。						
55～58	第2巻の総復習と後期期末試験対策を行う。						
成績評価方法	・出席率			定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験結果					実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率80％以上・定期試験80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率80％以上・定期試験60点以上・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	野生動物学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位
		通年	3 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	宗近 功						
	実務経験	有	上野動物園勤務後、千葉市動物公園を建設、園長に就任、京都大学霊長類共同研究員、東京農業大学非常勤講師を歴任、現在進化生物学研究所勤務。博士号、学芸員資格を取得。				
授業概要	野生動物達の生態・生理を知り、飼養管理に生かす					授業形式	講義
到達目標	知り得た野生動物の生態、生理を踏まえた飼育法の習得。						
教科書・教材・服装等	動物の世界,　配布資料						

授業計画	授業内容
1~2	オリエンテーション
3~6	動物の分類について学ぶ
7~10	哺乳類の特性について学ぶ
11~12	哺乳類の進化について学ぶ
13~23	生きていくためにデザインされた動物の体について学ぶ
24~26	前期の復習
27~36	動物の繁殖のシステムを学ぶ
37~45	動物の生態について学ぶ
46~54	動物園と自然保護について学ぶ
55~56	1年間の復習

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト91点～100点・平常点 優秀
	B評価	出席率90～99％・定期試験や小テスト81～90点・平常点 良好
	C評価	出席率80～89％・定期試験や小テスト71～80点・平常点 普通
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	水生生物学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位
		通年	3 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	横川 勝章						
	実務経験	有	長年に渡り、ペットショップにて勤務、水生生物を担当しており業界に精通している。				
授業概要	水槽という閉鎖的空間で、生き物を維持、管理するということは自然環境の本質的な部分を感じることができる貴重な体験である。それを実践するための知識と理解を深めることを目的とする。					授業形式	講義
到達目標	飼育器具の正しい使い方と働きを学び、魚種にあった環境作りができるようにする。さらに、日々変化する水槽内環境を理解し、対応できるようにする。						
教科書・教材・服装等	はじめての熱帯魚と水草　アクアリウムBOOK						

授業計画	授業内容
1~2	観賞器具：水質測定…正しい測定方法、測定意義と結果の解釈について
3	主要５０種の解説
4~5	観賞器具：水槽…材質別の特性と選び方
6~8	観賞器具：保温器具…ヒーターとサーモスタットの働き
9~14	観賞器具：各種フィルターの特性について
15~16	観賞器具：底床の種類と役割について
17~18	観賞器具：照明の種類と役割について
19~20	観賞器具：各種ウォーターコンディショナーの働き・その他
21~24	水槽のセッティング：手順と注意点
25~26	トラディショナル・ベタの飼育体験
27~28	熱帯魚の選び方と混泳について
29~30	日常管理と１日のチェックポイントについて
31~34	水換えの必要性と手順、注意点について
35	フィルターの洗い方と注意点
36~38	魚の食性：各種フードのメリット、デメリットと与え方のポイント
39~40	藻類（コケ）の種類と発生原因、対処について
41~42	魚の外部形態について（各ヒレ・各器官の名称や働き）
43~44	メダカの仲間について
45~46	カラシンの仲間について
47~48	シクリッドの仲間について
49~50	アナバスの仲間について
51~52	ナマズの仲間・古代魚・大型魚の仲間についてについて
53~54	病気が出やすい環境と病気の対処について
53~56	総復習を行う

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	小動物学					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山田　悠暉						
	実務経験	有	ふれあい動物園の勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる				
授業概要	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類の基礎知識や飼育をする上での基礎知識、管理方法を学習する					授業形式	講義
到達目標	様々な動物の基礎知識を習得し、管理方法を理解する						
教科書・教材・服装等	筆記用具、ノート ｴｷｿﾞﾁｯｸｱﾆﾏﾙ哺乳類編、ｴｷｿﾞﾁｯｸｱﾆﾏﾙ鳥類編、爬虫類両生類の上手な飼い方						

授業計画	授業内容
1～3	自己紹介・施設見学
4～6	分類・学名について
7～9	ハムスターの分類・体の特徴・品種について
10～12	マウス・ラットの分類・体の特徴・種類・飼い方について
13～15	シマリス・プレーリードッグ・ジリスの分類・体の特徴・種類・飼い方について
16～18	モルモットの分類・体の特徴について
19～21	中間まとめ
22～24	チンチラの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
25～27	ウサギの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
28～30	ウサギの飼い方について
31～33	デグーの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
34～36	ハリネズミの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
37～39	前期まとめ
40～42	トリの体の特徴・種類について①
43～45	トリの体の特徴・種類について②
46～48	トリの体の特徴・種類について③
49～51	猛禽類の体の特徴・種類について
52～54	モモンガの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
55～57	フェレットの分類・体の特徴・カラー品種・飼い方について
58～60	中間まとめ
61～63	カメの分類・体の特徴・カラー品種ついて
64～66	トカゲの分類・体の特徴・種類・飼い方について
67～69	ヘビの分類・体の特徴・種類・飼い方について
70～72	両性類の分類・体の特徴・種類・飼い方について
73～75	家畜の体の特徴・種類について
76～78	後半まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	動物演習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	平方 亜美						
	実務経験	有	ペットショップの勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる				
授業概要	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類の扱い方、保定方法を身につけ、トリ雛の育て方や魚の梱包方法などを学習する					授業形式	演習
到達目標	様々な動物の扱い方や保定方法を理解し、爪切りなど一人で動物を扱えるようになる						
教科書・教材・服装等	実習着、スニーカー、筆記用具、ノート						

授業計画	授業内容
1~3	モルモットの管理方法
4～6	ハムスターの管理方法
7～9	ハムスターの扱い方・お手入れ・保定方法について
10～12	生態調査
13～15	校外学習レポート作成
16～18	マウス・ラットの扱い方・保定方法について
19～21	リス・ジリス・ハリネズミの扱い方・保定方法について
22～24	モルモットの扱い方・保定方法について
25～27	ウサギの扱い方・保定方法について
28～30	小動物の爪切り・ブラッシング
31～33	ボディランゲージ
34～36	チンチラ・デグーの扱い方・保定方法について
37～39	ボディランゲージ
40～42	講師候補日
43～45	トリの扱い方・接し方について
46～48	インコの雛の育て方
49～51	家禽扱い方・保定方法
52～54	インコ類の保定方法
55～57	モモンガの扱い方・保定方法について
58～60	フェレットの扱い方・保定方法について
61～63	小動物の爪切り・ブラッシング
64～66	魚のパッキング方法
67～69	カメの扱い方・保定方法について
70～72	トカゲの扱い方・保定方法について
73～75	ヘビの扱い方・保定方法について
76～78	両生類・奇虫の扱い方・保定方法について
79～81	小動物ケア

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100%・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90%以上・99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80%以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	猫演習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	2　単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	相馬　雅代						
	実務経験	無					
授業概要	日常のお世話を行いながら、簡単な健康チェックの方法、爪切りやブラッシングなどの方法を学び、猫の正しい扱い方を学ぶ					授業形式	演習
到達目標	猫の行動の意味や管理方法を理解し、正しい扱い方を身に付ける						
教科書・教材・服装等	実習服、スニーカー(インヒール不可)						

授業計画	授業内容
1~3	猫舎内の実習における注意事項について、猫との接し方、ケージ清掃について、担当猫のケージ清掃の実践
4~6	担当猫のケージ清掃の実践、猫舎内清掃について、猫舎内清掃の実践
7～12	担当猫のケージ清掃の実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
13～15	担当猫のケージ清掃の実践、ボディチェックの方法と実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
16～18	担当猫のケージ清掃の実践、ボディチェックの実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
19～21	担当猫のケージ清掃・ボディチェックの実践、猫のお手入れ方法(爪切り・ブラッシング)の説明と実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
22～24	担当猫のケージ清掃・ボディチェック・お手入れの実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
25～27	担当猫のケージ清掃・ボディチェック・お手入れの実践、おもちゃの使い方について、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践
28～30	担当猫のケージ清掃・ボディチェック・お手入れの実践、猫の動きの観察、猫舎内清掃の実践

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率 90%以上・平常点 優れている
	B評価	出席率 80%以上・平常点 普通
	C評価	出席率 70%以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	動物管理実習					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	山田　悠暉						
	実務経験	有	ふれあい動物園の勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる				
授業概要	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類の基礎知識や飼育をする上での管理方法を学習した内容を実習内でケージ管理を通して実施、個体に合わせた管理方法等を学ぶ					授業形式	実習
到達目標	様々な動物の基礎知識を習得し、管理方法を理解する						
教科書・教材・服装等	実習着、スニーカー、筆記用具、ノート						

授業計画	授業内容
1～3	飼育方法の確認①
4～6	飼育方法の確認②
7～9	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
10～12	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
13～15	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
16～18	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
19～21	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
22～24	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
25～27	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
28～30	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
31～33	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
34～36	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
37～39	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
40～42	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
43～45	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
46～48	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
49～51	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
52～54	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
55～57	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
58～60	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
61～63	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
64～66	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
67～69	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
70～72	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
73～75	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
76～78	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック
79～81	鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類・魚類の飼育、健康チェック

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		実技試験
		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90~100%・平常点 優れている
	B評価	出席率80~90%以上・平常点 普通
	C評価	出席率70~80%以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	PDケア＆トレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6 単位
		通年	6 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	福島 詩菜						
	実務経験	有	仔犬の保育園を開業すると共に、優良家庭犬普及協会のGCT資格を取得、仔犬のブリーディングや成犬を含む多数の飼育管理を経験している。				
授業概要	ペットショップ店員としての基礎知識を身につけると共に、犬の扱い方や管理方法を学び、行動問題へ原因追求と対処方法、飼い主様へのアドバイス方法を考え実践する。					授業形式	実習
到達目標	学習理論に基づいたトレーニング方法と管理方法を身につける。						
教科書・教材・服装等	服装：実習着、フラットケンネルリード、スニーカー・長靴（インヒール・厚底不可）						

授業計画	授業内容
1～6	実習の流れと持ち物の説明。実習に関する事の説明。施設案内。犬舎作業の1日の流れ。犬プレートの見方。 クレートからの出し入れ。抱き上げ練習。ご飯の与え方練習。ケンネルリードの使い方。ご褒美の使い方。
7~12	犬舎/ケネル実習。ハウス・ランからの出し入れの仕方、抱き方、扱い方、消毒について学ぶ
13~18	座学/犬とは。犬を扱う前に知っておくこと。首輪の種類説明。 首輪のフィッティング練習。誘導方法(基本姿勢)。解放の合図。片付け。
19～24	犬舎/ケネル実習。ハウス・ランからの出し入れの仕方、抱き方、扱い方、消毒について学ぶ
25～30	座学/ボディランゲージ。カーミングシグナル。正しくない犬へのあいさつ。 オスワリ(フードなし)。オスワリ+マテ(誉め言葉)。スピン。片付け。
31～36	犬舎/ケネル実習。便・尿、お散歩について学ぶ。
37～42	座学/混合ワクチン。狂犬病。フィラリア症。 抱き上げ。オスワリ(言葉のみ)。タッテ。わんわんじゃんけん。片付け。
43～48	犬舎/ケネル実習。便・尿、お散歩について学ぶ。
49~54	座学/マイクロチップ。古典的条件付け・オペラント条件付け。 クレートトレーニング。知育玩具+クレート待機。セトルダウン。古典的条件付けの実践(音)。片付け。
55~60	犬舎/ケネル実習。フード種類・用途について学ぶ
61~66	座学/避妊・去勢。BCS。胃捻転・胃拡張。 プロンプト(3姿勢)。8の字。呼び戻し。片付け。
67～72	犬舎/ケネル実習。フード種類・用途について学ぶ
73～78	座学/ドッグフード。同じごはんを食べる。熱中症。 熱中症対策(実践)。一緒に歩く。アラウンド。片付け。
79～84	犬舎/ケネル実習。点眼・投薬・保定について学ぶ。
85～90	犬舎/ケネル実習。まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践。
91～96	座学/クリッカー(①サイコロ②イルカ) クリッカー実践①+ターゲットタッチ。片付け。
97～102	犬舎/ケネル実習。点眼・投薬・保定について学ぶ。
103～108	座学/ケーススタディ(引っ張り)。クリッカー(③キュー付け) クリッカー実践②+選択課題+キュー付け。片付け。

109～114	犬舎/ケネル実習。学んだ事を活かして犬舎で実践。
115～120	座学/いたずら防止。食糞。ケーススタディ(排泄) クリッカー実践③+共通課題+キュー付け。水平思考。片付け。
121～126	犬舎/ケネル実習。学んだ事を活かして犬舎で実践。
127～132	座学/ケーススタディ(拾い食い)。ケーススタディ(吠え)。 ノーズワーク①。片付け。
133～138	犬舎/ケネル実習。学んだ事を活かして犬舎で実践。
139～144	座学/プレオーナークラス。血統書の見方。 ノーズワーク②。片付け。
145～150	犬舎/ケネル実習。学んだ事を活かして犬舎で実践。
151～156	座学/外部寄生虫(ノミ・ダニ)。引張防止補助道具。 お散歩。ハンドリングゲーム。片付け。
157～162	犬舎/ケネル実習。まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践。
163～168	座学/罰を扱う前に知っておくこと。ケーススタディ(攻撃) ワークショップ①。基礎トレーニング(総まとめ)。ノーズワーク③
169～174	犬舎/ケネル実習。まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践。
175～180	犬舎/ケネル実習。まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践。

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率80％以上・平常点 優れている
	B評価	出席率70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率50％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	中島 雅子						
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。				
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。					授業形式	講義
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ						

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート
	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・USBメモリの取扱い方・タイピング練習
2	Windowsの基礎知識：IMEと日本語入力・タイピング練習
	Word 基本１：ファイルの基本操作を覚える・効率よい入力方法・タイピング練習
3~4	Word 基本２：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）
5	Word 文書作成：編集の手順・編集作業・ページ設定など
6	Word 表現力をアップする：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト
7	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる
8	Word 書式応用：書式設定を使いこなす・自由なレイアウトの文書作成・ページ設定
9~10	Wordで学ぶ著作権：ネット社会と正しい著作権を知る
	Word まとめ：総復習の到達度テスト実施、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える
11	Excel 基本１：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定
12	Excel 基本２：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る
13	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など
14	Excel データベース：リストとは(顧客名簿と入力規則)・大きなデータの表の扱い方
	Excel まとめ：総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・到達度テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・到達度テスト80％以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・到達度テスト70％以上・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・到達度テスト60％以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	古沢 真紀						
	実務経験	有	メディア等各局で司会やキャスターを経て、研修会社を設立。様々なセミナー、講演会をプロデュースする傍ら、自らも講師として活躍。				
授業概要	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。					授業形式	講義
到達目標	基本の挨拶、メールの送り方、電話応対、話し方など、しっかりと覚えておくべきマナーとルールを身につける。シチュエーション別に自然な態度で礼儀作法にかなった接遇ができるようになるのが目標。						
教科書・教材・服装等	ビジネス・ハンドブック						

授業計画	授業内容
1	セルフ・プレゼンテーション
2	挨拶／お辞儀
3	言葉遣い　敬語１
4	言葉遣い　応対用語
5	電話応対　基本
6	電話応対　取次
7	手紙のルール
8	メール・SNS　のルール
9	訪問のマナー
10	来客応対　席次　案内
11	エレベーターのマナー
12	イノベーション・ゲーム
13	期末試験

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	動物飼育コース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)						必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位		授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	鈴木 友子							
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講					
授業概要	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。						授業形式	講義
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。 具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。							
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ビーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ビーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ビーコンラーニングサービス）1,080円							

授業計画	授業内容
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する
3	LIFO診断
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解
5	強みの確認①
6	強みの確認②
7	強みの確認③
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）
9	自分の強みを確認する④
10	就職室の紹介
11	『Ｇｏｏｇｌｅ　classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）
12	業界インターンシップについて
13	就職セミナーについて
14	企業研究の仕方
15	強みの使い過ぎの確認
16	強みの拡張
17	自己分析シートの完成
18	福利厚生・社会保険について
19	身だしなみ指導
20	企業説明会
21	インターンシップに向けて
22	ESの作成指導
23	自己PRの基本構築と作成
24	電話のかけ方
25	インターンシップ事前準備
26	志望動機の基本構築
27	インターンシップ準備、企業説明会
28	課題レポートの作成

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80%以上・課題提出・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	青木 春菜・山田 悠暉						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	学校生活について①
2~3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定
4~5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ
6~7	メラビアンの法則、言葉遣い
8~9	学校行事についてのディスカッション①
10~11	学校行事についてのディスカッション②
12	敬語表現や使い方
13	まとめ
14~15	学校生活について②
16~17	学校行事についてのディスカッション③
18~19	学校行事についてのディスカッション④
20	プレゼンテーション例
21~27	プレゼンテーションと振り返り
28	総まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合